

宿泊税充当額に係る財政需要
(令和7年度予算をベースとした現時点の想定)

(単位：億円)

主な項目	需要額 (充当可能額) A	令和7年度 充当額 B
①観光を通じた京都魅力の継承・発展	13.7	8.3
京都の多様な魅力の向上、情報発信の更なる強化	4.3	3.9
修学旅行誘致の強化	0.6	0.6
MICE誘致の強化	2.0	2.0
観光客向け案内整備	1.6	1.6
観光事業者の経営強化・魅力発信	0.3	0.3
令和8年度以降の新規・充実事業に係る枠取り分	5.0	—
②文化の力を活かした価値創造	15.7	5.3
文化財の保全・継承に向けた取組	3.6	1.7
伝統文化の担い手育成・魅力発信	1.9	1.3
文化振興による多様で奥深い魅力創出	5.2	2.4
令和8年度以降の新規・充実事業に係る枠取り分	5.0	—
③品格ある景観創造	13.8	4.0
京町家の保全及び継承に関する取組	1.5	0.7
歴史的景観・自然景観の保全に向けた取組等	7.2	3.3
令和8年度以降の新規・充実事業に係る枠取り分	5.0	—
④観光課題対策の着実な実施	21.3	9.3
安心安全な受入環境整備	3.0	1.7
移動利便性の向上・観光地等交通対策	13.0	7.3
観光に対する市民の共感醸成、京都観光モラルの普及・促進	0.3	0.3
令和8年度以降の新規・充実事業に係る枠取り分	5.0	—
⑤市民・観光客双方の利便性向上や安心安全につながる都市基盤整備	62.5	26.0
災害時等における市民・観光客等の安全対策	28.9	13.1
交通施設等社会インフラの機能強化	17.6	8.0
公共土木施設の維持管理など	10.9	4.9
令和8年度以降の新規・充実事業に係る枠取り分	5.0	—
宿泊税課税・徴収経費	6.2	6.2
	133.2	59.1

※A：事業費から特定財源を除いた一般財源ベース。また、インフラ整備等は市内人口に対する観光客の割合等、観光客が享受する便益の割合に応じて、需要を算定

※B：観光施策、宿泊税課税・徴収経費に優先的に充当し、その他は充当可能額を宿泊税収入額で案分